



## 四季折々の自然がいっぱい!

眉山山頂からは、紀伊水道に面した徳島平野が一望できます。四国三郎と呼ばれる吉野川、市街地を取り囲む新町川、助任川…。少し視線を変えると淡路島に大鳴門橋。天気の良い日には、はるか紀伊半島まで見ることができます。四季を通じて様々なイベントも開催されています。あなたも、自然がそのまま残る眉山に出かけてみませんか。

## 眉山を歩こう!

### 天神社

阿波おどり会館横の天神社の赤い鳥居をくぐって石段を登ります。(「自然歩道登山口」と書かれた石柱が立っています。) 100mの指標を過ぎてロープウェイの下を横切る時、一瞬、視界が開け、城山の向こうには吉野川も見ることができます。100mごとに指標が立っているのもわかりやすい。



### 天神社~眉山山頂コース

100mの指標  
400段の階段  
100mの指標  
市内を望む  
道路



### 眉山を歩く前に…マナー

#### 1 靴

スニーカーでは靴の底が滑りやすいので、できれば登山用の靴を。

#### 2 リュックサック

背負った時に体に合った、疲れないものを。

#### 3 サラにプラス

レイウェア・帽子・防寒着・サンダル・手袋など

#### 4 あると便利

●水筒(水を入れていくと、飲むだけではなく、ケガをした時に伤口を洗うのにも使えます)  
●ガイドブック・ゴミ袋  
●急救用のファーストエイドキット

#### 5 マナー

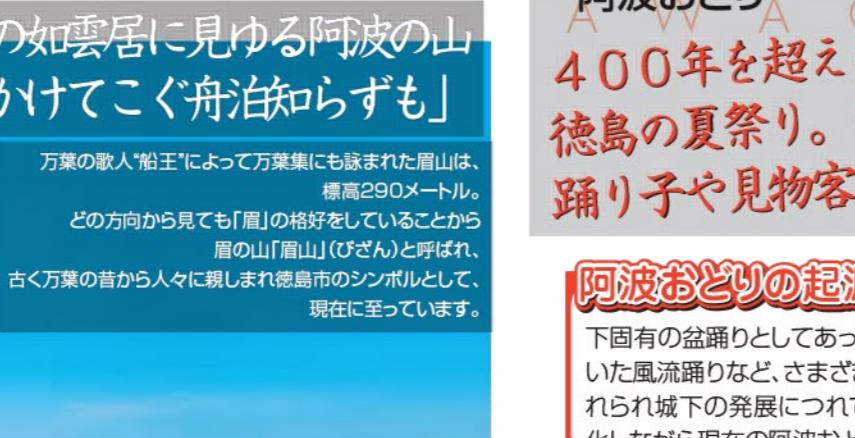
●コースから外れて歩かない。  
●ゴミは持ち帰る。  
●花が咲いていても摘まない。  
●すれ違う人と挨拶をする。

#### 夏場はマムシに注意!!

足下に注意して、見かけでも近寄らない。

## 「眉の如雲居に見ゆる阿波の山 かけてこぐ舟泊知らずも」

万葉の歌人「船王」によって万葉集にも詠まれた眉山は、標高290メートル。どの方向から見ても「眉」の格好をしていることから眉の山「眉山」(びざん)と呼ばれ、古く万葉の昔から人々に親しまれ徳島市のシンボルとして、現在に至っています。



## 阿波おどり

400年を超える歴史を持つ徳島の夏祭り。ぞめきのリズムに踊り子や見物客の身も心も弾む。

### 阿波おどりの起源

阿波おどりは、最初から徳島城下固有の盆踊りとしてあったのではなく、畿内などで踊られていた風流踊りなど、さまざまな踊りが城下の踊りとして取り入れられ城下の発展につれて、町衆に支えられ町衆とともに変化しながら現在の阿波おどりに発展してきました。

### 1.盆踊り起源説

阿波おどりが旧暦の7月に行われた盆踊りであるといふもの。「俄」組踊りといった特殊なものが派生してきたとはい、そのもとは盆踊りであるといふ説。

### 2.風流踊り起源説

阿波おどりの特色である組踊りが、能楽の源流をなすといわれる「風流」の影響を強く受けているといわれ、寛文3年(1663年)の「三好記」の中には、天正6年(1578年)に十河存保が勝瑞城で風流踊りを開催したという記録に基づいてこれが阿波おどりの始まりとする説。

### 3.築城起源説

天正15年(1587年)に蜂須賀家によって徳島城が落成したときに祝賀行事として、城下の人々が踊ったのが始まりといふ説。

### 4.おとこ踊り

阿波おどりDATA

- お問い合わせ先／徳島市観光課 Tel.088-621-5232
- URL／<http://www.awaodori-kaikan.jp>

### おんな踊り

いすれの説からも、400年を超える歴史をもつことは十分うかがえるわけで、それが一段と盛んになったのは、蜂須賀家が天正14年(1586年)に徳島入りし、堀、塹などを富を蓄積したことからといわれ、小江戸と呼ばれた徳島、藍商人が大活躍し、阿波おどりを豪華にしていました。その後、藍商人の衰退後も、市民社会に定着し、自由な民衆娯楽として花開きました。特に、戦後の阿波おどりの復興ぶりは目ざましく、今では日本を代表する民族舞蹈の地位を確保しました。何は無くても阿波おどりの心意気が、現在の8月12日～15日の期間中に130万人近く人々の心を魅了しています。

### 鳴り物 総 介

鳴り物は阿波おどりになくてはならない存在です。そこで主な鳴り物を簡単に紹介します。

#### 1 鉦(かね)

阿波おどりに初めて使用された楽器であろうといわれています。カラカラんと鋭い音は踊りのリズムをリードします。

#### 2 鼓(づみ)

張り屋でたく太鼓と手で叩く小鼓がある。ポンポンといふ音の躍動感や、激しさをさらにもりたしてくれます。

#### 3 大太鼓(おおたい)

ドンドンと、腹の底に響きわたるダイナミックな音は、阿波おどりの躍動感や、激しさをさらにもりたしてくれます。

#### 4 三味線(しゃみせん)

阿波おどりには切れ離せない三味線。歯切れの良いよこの音色を聞けば、心浮き立ち、踊りだしてしまう人も多いはずです。

#### 5 箏太鼓(しめだいご)

甲高く、心浮き立つような音を出す箏太鼓。リズミカルに乾いた音で、踊り子たちを弾ませます。

